

2階 ギャラリー

10時～7時 最終日5時まで →異なる場合は、各欄に明記。

土壁に梁。床の間のある畳敷きの部屋も。
座ってゆっくり鑑賞できます。

ノスタルジック・インディア 佐藤友美【顔彩、水彩画】 9/8(金)～11(月)
TOUCH THE GOND【ゴンド画コレクション】
インド、ベンガルやケララの人、風景… 現地での体験を咀嚼し、忘れがたい印象や感覚を特徴的な色彩で柔らかく表現した佐藤さんの絵画。中央インドの伝統的な民族画“ゴンド画”。神話や寓話、森の動植物などがモチーフの図柄はユニークで、画家ごとに多種多様です。

季は長月 草木染手織 田中三枝子展 9/16(土)～19(火) 連日11時から
「自然界に在る無尽蔵の色彩の美しさ…。天然素材を手織りすることで得られる温もりを感じていただきたい」。そう語る田中さん。木綿や麻を藍の葉、桜の枝、草、木の実で手染め、手織りしたストールやバッグなど、心のこもった約50点が展示販売されます。

9月・楽宇生 浅香和子 革、木と遊ぶ 【レザーカービング】 9/21(木)～26(火) 連日11時～6時
最終日5時まで
ご自宅の庭でアライグマを見かけた浅香さん！ リアルに、可愛らしく。そんな風に革で動物を表現する日々に、嬉しい貴重な出会いでした。額絵、バッグ、小物などに施されたタヌキ、キツネ、犬、猫、馬…。見ているだけで優しい気持ちになる優しい目をした動物たちに会いにきませんか。

坂本一樹 絵画展 【日本画】 9/28(木)～10/3(火)
絵画で表現したいのは森羅万象への賛歌です。宇宙は光と生命と不思議に満ちていて、とても美しいものです。線を引き、色を重ねて描いてゆく中で見えてくる宇宙のリズム、生命の輝き。僕にとっての絵画は抽象的な表現であっても、やはり山水花鳥風月なのです。(坂本一樹)

●楽風企画

Shiro no naka no Shiro KAWAGISHI MIO EXHIBITION

10/5(木)～17(火) 11(水)休

「白と白と黒と…。白と黒の2色が織りなす平面から立体へ、立体から平面へ…」
—無限の迷宮の中で遊び続けることが、今の私の創作であり、作品です。
好きなコト、好きなイロ、好きなカタチ。

自分の「コト、イロ、カタチ」を楽風さんの空間におさめます。(川岸美緒)

かわぎし みお © 1989年、東京生まれ。

2012年、女子美術大学 工芸学科染コースを卒業。2014年、ギャラリー椿 GT2(京橋)にて初個展。

CUBE BOX I
木材 アクリルガッシュ
17×17×5cm
2017年



PALS すまいの多様なカタチ展 2017 ～時とともに～ 【建築】 10/19(木)～24(火)
隔年で開催される展覧会。2年の間にもPALSメンバーの建築作品は生まれます。「過去から後の世代までも、時を越えて、時とともに、良い住文化を紡いでゆくためには？自分のすまいはもちろんのこと、地域の大切さにも目を向けてもらえれば…。」今回もそんな思いを込めて。

齋藤啓子 ときめくキモノリメイク服展 10/27(金)～31(火) 連日11時～6時
最終日5時まで
「着て楽しく、出歩きたくなる服を」。この思いを胸に、ダンスに眠っていた懐かしい着物を思い出と共に甦らせました。紬、緋、銘仙…。丁寧な縫製で、洒落たデザインに仕上がっています。古希を迎える齋藤さん、ひとつの区切りとして開く展示です。

鯨虎じょう /若手作家応援企画【陶立体】 11/2(木)～7(火)

関根苔華[刻書] 11/16(木)～21(火)

菅谷佐知子、倉永久子[写真] 11/23(木・祝)～28(火)

戸津圭一郎[陶器] 11/30(木)～12/5(火)

たかのしず絵[陶器] 12/7(木)～11(月)

鯨虎じょう



築126年。土壁と梁のギャラリーで作品を発表しませんか。

2017年夏、ギャラリーの土壁を塗り直しました。

長年慣れ親しんだ壁面とはまた違った雰囲気。

手工芸はもちろん、絵画や写真などの平面から、立体、インスタレーションまで、幅広いジャンルの作品を印象的に展示できます。

個展やグループ展にご利用ください。

貸ギャラリー、2018年のご予約承ります。

お気軽にお問い合わせください。

ホームページでも使用規約等をご覧いただけます。http://rafu-urawa.com/gallery.html

